

平成25～27年度間 市町村体力向上アクションプラン(平成27年度版)

(別紙様式2)

(国東市)教育委員会

①体力の状況

ア 体力・運動能力調査結果

調査項目	能力		上伸距離		長距離歩		反復跳び		20m走		50m走		立ち幅跳び		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

○全国平均を上回る調査項目の割合が、昨年度の42.4%から62.5%に向上し、成果指標(50%)を達成した。
○小学校では、全国平均を上回る調査項目の割合が、昨年度の59.4%から79.2%となり、かなり向上した。中学校も昨年度の10.4%から29.2%へと向上した。

※1) ◎は、国東市の平均が全国平均と県平均のいずれも上回っているもの
※2) ○は、国東市の平均が県平均のみ上回っているもの
※3) ●は、国東市の平均が全国平均のみ上回っているもの

イ 生活習慣等調査結果

調査項目	小学生		中学生		全体	
	県	市	県	市	県	市
H26生活習慣等調査結果(国東市平均と県平均の比較)						
運動への愛好度	好き	64	63	56	60	61
運動・スポーツの実際の状況	ほとんど毎日	46	53	73	86	58
部活動等の所属状況	しない	8	8	10	5	9
朝食の有無	毎日食べる	57	61	76	88	65
1日の睡眠時間	8時間以上	87	90	84	82	86
	6時間未満	55	54	17	16	37
		7	6	15	13	11

○中学校において運動への愛好度が昨年より向上し、県平均も上回っている。
○運動・スポーツを毎日(週3日以上)する児童生徒の割合が、県平均を上回っている。
○運動・スポーツをしない児童生徒の割合が、県平均(9%)を下回り、成果指標(7%)を達成した。

※ は、国東市の平均が県平均を上回っているもの(同数含む)

ウ 当該市町村の児童生徒の特徴的な様子

・市教委主催の陸上競技教室、陸上競技記録会、リレーカーニバル、水泳教室、水泳記録会等のスポーツイベントに参加する児童の割合は2～3%であり、積極的に運動・スポーツを楽しもうとする意欲に乏しい面がある。
・部活動やスポーツ少年団に入り、熱心にスポーツに取り組む児童生徒がいる反面、ほとんど運動・スポーツをしない児童生徒が1割弱いる。
・中学校において、運動をほとんど毎日する割合の高さや、部活動への所属状況の割合の高さが運動能力調査の結果に結びついていない。

②平成26年度の具体的取組

ア 児童生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校の行動

- 《市教委》
1)各学校への体力向上プランの作成依頼及び必要に応じて内容協議
2)学期ごとの体力向上アクションプランの取組状況の報告を各学校に求める。
3)家庭や地域における運動習慣の企画立案
・全小学生の家庭において、縄跳びタイム(平日10分間)の設定・実施
・毎週水曜日から午後8時から全市一斉親子(保護者と子ども)縄跳びタイム(10分間)の設定・実施
・ケーブルテレビによる縄跳びタイムの輪を広げる番組作成
・年間継続して実施した児童の表彰

《学校》

- 1)今年度の評価を行った上で、児童生徒の実態に応じた内容で、通年にわたる休み時間等を活用した体力向上に向けた取組(一校一実践)の改善・実施(週3日以上)
2)今年度の評価を行った上で、すべての体育の授業の導入部分で、各学校の児童生徒の実態に応じた内容の基礎体力づくりトレーニング時間の改善・実施
3)家庭や地域における運動習慣確立の推進
・全小学生の家庭において、縄跳びタイム(毎日10分間)の確立を図る。
・親子(保護者と子ども)縄跳びタイムの取組みの推進
・全的に保護者が送り迎えをしない自力登下校の促進
・協育ネットワークによる体育の授業
・部活動における外部指導者の積極的な活用
・総合型地域スポーツクラブ・地域のスポーツイベント等への積極的な参加促進

イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校の行動

- 《市教委》
1)全小・中学校の体育授業力の向上を図るため、小学校2校に体育専科教員を配置し、配置校及び訪問校における取組の推進及び授業公開(各小・中学校から1名以上の参加)・実践発表の実施
2)全小・中学校の体育授業力の向上や充実した体力向上に向けた取組、さらには系統的な指導に資するため、市全体の体力に係る実態についての説明・優良事例の紹介等の内容による年間2回(5月・2月)の体育主任会議の実施
《学校》
1)体力向上に向けた取組の充実を図るための体育環境の工夫・改善
2)一校一実践・基礎体力づくりトレーニング等について、体育主任が各学校の体力・運動能力調査結果等による児童生徒の実態に即した内容で企画・立案し、校内の体育保健組織や運営委員会において審議し決定した後、全教職員による実施

③課題(平成27年度に向けて)

ア 児童・生徒の課題

- 中学校では、全国平均を上回る調査項目の割合が29.2%で昨年、一昨年より向上しているが、全国レベル下回る項目が多い。
- 小・中学校から課題のあった中学校1年生の改善が進んでいない。
- 小・中学校ともに50m走、立幅跳びに課題が見られる。
- 小学校において運動への愛好度が下がっている。
- 全国平均を上回る項目の割合の学校間格差が大きい(小:58.5ポイント、中:20.9ポイント)
- 中学校において、運動をほとんど毎日する割合の高さや、部活動への所属状況の割合の高さが運動能力調査の結果に結びついていない。

イ 体力向上に関して抱える組織的な課題

(実施率)	できている(9割以上)		ほぼできている(7割～9割)		あまりできていない(5割～7割)		できていない(5割未満)	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
一校一実践	9校	0校	2校	3校	0校	1校	0校	0校
基礎体力カトレ	6校	3校	5校	1校	0校	0校	0校	0校
家縄	0校	—	1校	—	1校	—	9校	—

- 一校一実践は、「できている」割合が小学校は82%だが、中学校は0%であり、全体として取組指標(80%)が未達成である。
- 基礎体力づくりトレーニングは、「できている」割合が小学校55%、中学校75%であり、取組指標(90%)が未達成である。
- 縄跳びタイムの実施について、「できている」学校がない。

④目標

ア 児童・生徒の体力向上に係る目標(平成27年度)

- 1)体力・運動能力調査において、全国平均以上である調査項目の割合を65%以上にする。(H26:62.5%)
2)運動好きな児童生徒の割合を65%以上にする。(H26:61%)
3)運動・スポーツをしない児童生徒の割合を5%以下にする(H26:6%)と同時に、運動・スポーツをほとんど毎日(週3日以上)する児童生徒の割合を80%以上にする。(H26:70%)

イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための目標

- 1)児童生徒がどの学校どの学級に所属していても、体力をつけることができるようにするため、体力の学校間格差を小学校は40ポイント、中学校は15ポイント以内にする。
2)中学校において、管理職・体育教師が中心となり、組織的に体力向上に取り組み、一校一実践を充実し、基礎体力づくりトレーニングを含め実施率を小学校・中学校ともに100%にする。
3)学校が家庭や地域と連携しながら、体力づくりの取組を進めていき、縄跳びタイムを含めた家庭での運動の実施率を80%にする。
4)小学校において、一校一実践・基礎体力づくりトレーニングにおいて、50m走・立幅跳びの記録の向上につながる運動を取り入れ、両項目を全国平均まで高める。

⑤平成27年度行動計画

ア 児童・生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校における行動

- 《市教委》
1)各学校への体力向上プランの作成依頼及び必要に応じて内容を協議する。
2)学期ごとの体力向上アクションプランの取組状況の報告を各学校に求める。
3)家庭や地域における運動習慣の企画立案。
・全小学生の家庭において、縄跳びタイム(平日10分間)をはじめとする家庭での運動時間の設定・実施
・毎週1回、縄跳びタイム(10分間)をはじめとする親子(保護者と子ども)での運動時間の設定・実施
・年間継続して実施した児童の表彰
・市民健康課が提案する「さ吉くんチャレンジ」と連携した取組の提案
・ケーブルテレビにおいて、「さ吉くんチャレンジ」に取組む様子を紹介する番組作成
4)部活動指導者講習会の実施

《学校》

- 1)今年度の評価を行った上で、児童生徒の実態に応じた内容で、通年にわたる休み時間等を活用した体力向上に向けた取組(一校一実践)の改善・実施(週3日以上)
2)今年度の評価を行った上で、すべての体育の授業の導入部分で、各学校の児童生徒の実態に応じた内容の基礎体力づくりトレーニング時間の改善・実施
3)家庭や地域における運動習慣確立の推進
・全小学生の家庭において、縄跳びタイム(毎日10分間)をはじめとする家庭での運動習慣確立の推進
・毎週1回、縄跳びタイムをはじめとする親子(保護者と子ども)での運動時間確立の推進
・全的に保護者が送り迎えをしない自力登下校の促進
・協育ネットワークによる体育の授業
・部活動における外部指導者の積極的な活用
・総合型地域スポーツクラブ・地域のスポーツイベント等への積極的な参加促進
4)すべての部活動において、生徒の実態に応じた週3日以上基礎体力づくりトレーニングの実施
5)週運動実施時間60分未満の児童生徒を把握し、学級担任や養護教諭と連携のうえ、保護者及び児童生徒に対し、学校若しくは、家庭における健康づくりのための具体的な提案を行う

イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校における行動

- 《市教委》
1)全小・中学校の体育授業力の向上を図るため、小学校2校に体育専科教員を配置し、配置校及び訪問校における取組の推進及び授業公開(各小・中学校から1名以上の参加)・実践発表の実施
2)中学校体力向上推進校を指定し、取組の推進及び授業公開(年1回開催、各小・中学校から1名以上の参加)・実践発表の実施
3)全小・中学校の体育授業力の向上や充実した体力向上に向けた取組、さらには系統的な指導に資するため、市全体の体力に係る実態についての説明・優良事例の紹介等の内容による年間2回(5月・2月)の体育主任会議の実施

《学校》

- 1)体力向上に向けた取組の充実を図るための体育環境の工夫・改善
2)一校一実践・基礎体力づくりトレーニング等について、体育主任が各学校の体力・運動能力調査結果等による児童生徒の実態に即した内容で企画・立案し、校内の体育保健組織や運営委員会において審議し決定した後、全教職員による実施
3)部活動における体力づくりトレーニングについて、体育主任が各学校の体力・運動能力調査結果等による生徒の実態を分析し、それを受けて各部活動担当が所属生徒の実態に即した内容で実施する等学校全体で取り組む

⑥平成27年度の人的支援希望の内容

- 1)来年度は、小学校の体育専科教員を本年度同様2名配置を希望する。
①1名は本年度同様、安岐中央小学校を本務校とし、武蔵東小学校を訪問校とし2校の指導に当たる。
②1名は本年度同様、富来小学校を本務校とし、姫島小学校を訪問校とし2校の指導に当たる。

○体育専科教員は以下の役割を担うこととする。

- ・配置校における実践
- ・訪問校における実践
- ・要請のあった市内の学校を訪問し、体育指導について教員へのアドバイスや児童への指導
- ・授業公開
- ・体育主任会議における実践発表の実施

⑦工程表(推進スケジュール)

平成25年度	平成26年度	平成27年度
市「体力向上アクションプラン」の公表・学校「体力向上アクションプラン」の公表→H26からは達成状況も公表		
一校一実践の開始	一校一実践の工夫・改善	一校一実践の日常化
体育授業での基礎体力づくりトレーニング開始	体育授業での基礎体力づくりトレーニング内容の見直し検討	体育授業での基礎体力づくりトレーニングの確立
体育主任会議の開催(教職員の意識改革)	体育主任会議の開催(組織的取組の推進)	体育主任会議の開催(組織的取組の定着)
家庭での縄跳びタイムの取組開始	家庭での縄跳びタイムの工夫・改善	縄跳びタイムをはじめとする家庭での運動の日常化
		部活動での基礎体力づくりトレーニングの実施
		部活動指導者講習会の開催
指標による課題と成果の把握		
次年度の計画		

⑧成果指標(達成指標及び取組指標)

平成25年度	平成26年度	平成27年度
達成指標		
○体力・運動能力調査において、全国平均以上である調査項目の割合 30%【達成】(H25:42%)	50%【達成】	全体 65% 小男 68.8% 小女 83.3% 中男 41.7% 中女 62.3%
○運動好きな児童生徒の割合 59%【達成】(H25:61%)	62%【未達成】	全体 65% 小学校 65% 中学校 65%
○運動・スポーツをほとんどしない児童生徒の割合 8%【達成】(H25:6%)	7%【達成】	全体 5% 小学校 5% 中学校 5%
○運動・スポーツを毎日(週3日以上)する児童生徒の割合 70%【達成】(H25:70%)	75%【未達成】	全体 80% 小学校 80% 中学校 85%
取組指標		
○一校一実践(全学年週3日以上)実施率 80%【未達成】(H25:67%)	90%【未達成】	100%
○体育授業での基礎体力づくりトレーニング実施率 90%【未達成】(H25:53%)	95%【未達成】	100%
○小学生の家庭における縄跳びタイム(家縄)をはじめとする家庭での運動の実施率 75%【未達成】	75%【未達成】(←85%)	80%